



石灰石を主原料としたエコ包装袋を導入します！

～脱プラスチックに向けた取組み～

百十四銀行（頭取 綾田 裕次郎）は、海洋プラスチック問題に対する取組みとして、行内で使用するエコごみ袋に続き対外的に使用する包装袋を「石灰石を主原料としたエコ包装袋」に順次切り替えてまいりますのでお知らせします。

当行は脱プラスチックに向け、2023年8月以降行内で使用するごみ袋を「100%バイオマス原料を含有したエコごみ袋」に順次切り替えています。今回、対外的に使用する包装袋についても石灰石を主原料としたエコ包装袋に切り替えていくことで、脱プラスチックに向けた取組みを更にすすめてまいります。

当行は「百十四銀行SDGs宣言」に基づき、これからもSDGs達成に向けたさまざまな取組みを実践してまいります。

【エコ包装袋について】

◆ 概要

- ・今回導入するエコ包装袋は、石灰石原料を50%以上含有した環境に優しい包装袋です（石油由来のプラスチック使用比率を下げた製造されており、炭酸カルシウムなど無機物配合率：54%）。

◆ 主原料となる石灰石

- ・石灰石は、炭酸カルシウム（CaCO₃）を主成分とし、世界中に豊富に存在する岩石で、プラスチックの代替が可能となり、様々な種類のプラスチック・紙の代替製品を成型・リサイクルが可能です。
- ・石灰石は、資源に乏しい日本国内でも自給自足できる資源であり、石油や水と比較し、枯渇リスクが非常に低い資源といわれています。

◆ その他

- ・本取組みは、環境省の「プラスチック・スマート」キャンペーン※においても発信します。

（※）環境省が、世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体が連携協働して取組みを進めることを後押ししているものです。

